

第87回県かきぞめ競書大会実施要項

主催 福井新聞社
共催 (一社)若越書道会
協力 県書道教育研究会
後援 福井県、県教育委員会、福井市、敦賀市、越前市、小浜市、大野市、勝山市、鯖江市、あわら市、坂井市

特別協賛 (公財)げんでんふれあい福井財団、北陸銀行、(一財)三谷市民文化振興財団

参加資格 県内の小中学生および高校・大学生(県外大学の本県出身者を含む)
 前回到続き、ブラジルサンパウロ州にある福井県出身者入植地の日本語学校生徒の参加を特別に認めます。

出品点数 1人1点に限ります(ただし、小学1・2年生は毛筆・硬筆の両方を出品できます)。

出品料 無料

用紙 硬筆 小学1・2年=B5判、なるべく白い用紙(縦書)
 ※硬筆は指定のマス目入り用紙を下敷きに使用して鉛筆で清書してください。他の下敷きの使用は認めません。
 毛筆 小・中学生=半紙(縦書)
 高校・大学生=画仙半切(縦書)

出品方法 各学校は、指定の出品数表を添付して出品してください。学校以外の団体および個人出品は受け付けません(ただし県外の大学生は除く)。
 作品の左下に**個人出品票を貼り、同出品票にも必ず氏名を明記**してください。
 ※個人出品票は出品票作成ソフト「らくらく出品票」を福井新聞ホームページからダウンロードして作成してください。出品票に名前などが印字されるため、手書きする手間が省けます(ただし県外の大学生は除く)。
 さらに、次の事項に留意してください。
学校名、氏名が不明瞭な作品は審査対象としません。
 〈小中学校〉
 1) 作品は、**市町名入りの学校ゴム印**を押し、氏名を明記してください。
 2) 作品の氏名は、硬筆は鉛筆、毛筆は筆で記入してください。学年は不要です。
 3) 作品は学年ごとに帯封をし、帯封に点数を明記してください。

〈高校・大学〉
 作品の裏面右下にも学校名、学年、氏名を鉛筆で楷書で明記(ゴム印可)してください。

応募期間 令和4年12月5日(月)～令和5年1月11日(水)正午必着
 平日9時30分～17時30分の受け付け。
 ※土、日、祝、12月25日～1月3日は受け付けません。
 ※1月10日(火)は本社のみ19時まで受け付けます。

提出先 福井新聞社営業事業局「県かきぞめ競書大会事務局」宛
 〒910-8552 福井市大和田2丁目801 ☎0776(57)5152
 ※県内支社支局でも受け付けますが、搬入の際には必ず事前に支社支局に電話してください。

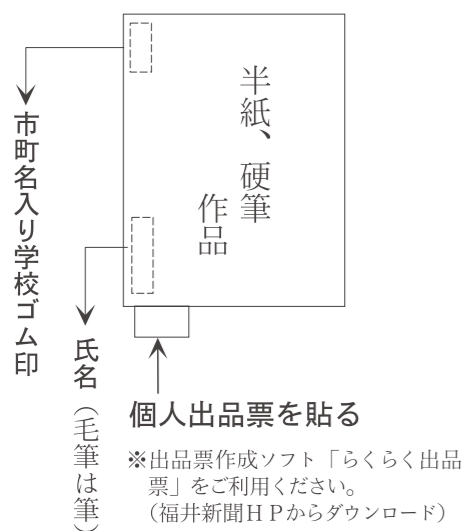
審査 第1次=令和5年1月14日(土)・15日(日)午前9時30分
 第2次=令和5年1月28日(土)・29日(日)午前9時30分
※第87回大会は席上揮ごうを行いません。

賞 大賞、推薦(知事賞、県教委賞、若越書道会賞、県内9市賞、げんでんふれあい福井財団賞、北陸銀行賞、福井新聞社賞)、準推薦、奨励賞、特選、秀作、入選

表彰式 令和5年2月11日(土・祝)
 福井新聞社・風の森ホール(予定)※対象は大賞、推薦の入賞者

展覧会 福井展=令和5年2月9日(木)～12日(日):準推薦以上作品
 鯖江展=令和5年2月17日(金)～19日(日):準推薦以上作品
 大野展=令和5年2月23日(木・祝)～26日(日):大賞、奥越エリアの奨励賞以上、大野市の特選作品
 小浜展=令和5年3月3日(金)～5日(日):大賞、知事賞、県教委賞、嶺南エリアの奨励賞以上の作品
 ※返却希望は展示作品のみ受け付けます。展示作品以外の返却はいたしません。
 ※掛け軸の申し込みは受け付けいたしません。

その他 第1次審査の特選者(第2次審査進出者)と第2次審査の推薦以上の名簿は電子新聞「福井新聞D刊」で発表予定です。全賞確定後、秀作以上の入賞者名を福井新聞紙上で発表します。課題の手本は、10月下旬または11月初旬以降に福井新聞紙面・ホームページに掲載します。
※新型コロナウイルス感染状況など、時勢により日程変更や中止とさせていただきます。



◆課題◆

<p>小学生の部</p> <p>▼硬筆Ⅱ一年 みんなであわせて 力あわせて もちをつく</p> <p>▼硬筆Ⅱ二年 雪の下 小さないのち 春をまつ</p>	<p>中学生の部</p> <p>▼毛筆 一年 進 化 二年 幸 福 三年 発 展 五年 美しい空 六年 光る天地</p>	<p>高校生の部</p> <p>▼漢字 山葉早梅心万里 雪窓風竹夢三更</p> <p>▼仮名 春の月さはらは雫たりぬべし</p> <p>▼漢字仮名交じり 人間が唯一偉大であるのは 自分を超越するものと闘うからである</p> <p>大学生の部</p> <p>▼漢字 千峰樹色蔵朝雨 百道江声送晚霞</p> <p>▼仮名 君がため春の野に出でて 若菜摘むわが衣手に雪はふりつつ</p> <p>▼漢字仮名交じり 創造は過去と現在とを材料としながら 新しい未来を発明する能力です</p>
--	---	---

※注意事項

- ▼小学生の部Ⅱ楷書
- ▼中学生の部Ⅱ行書
- ▼高校・大学生の部Ⅱ書体は自由。漢字は旧漢字も使用可。仮名は変体仮名(草仮名)の使用可。漢字を仮名に直すことは可。漢字仮名交じりは漢字仮名の変換は不可、旧漢字使用可。